

# 台湾・台南市のスマートシティプロジェクトへの参画について

2024年7月16日

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）は、当社100%出資の現地法人である台湾伊藤忠股份有限公司（本社：台湾 台北、董事長：小野 雄一郎、以下「台湾伊藤忠」）を通じて、台南市政府が推進するスマートシティプロジェクト「113年沙崙智慧綠能科學城全區規劃整合委託服務案(沙崙スマートシティにおける統合開発案件)」を受注し、プロジェクトオーナーとして参画いたします。

台南市政府は、グリーンエネルギー技術を活用した技術革新の促進を目指し、同市・沙崙地区のスマートシティ構想を掲げております。さらに今後AI産業の発展に向けた投資を100億台湾元規模で計画しています。当地区では、グリーンエネルギーやスマートテクノロジーを段階的に導入し、スマートシティ構築・発展を推進しています。

台湾伊藤忠は、1959年の創業以来、当社グループのグローバル・ネットワークを最大限に活用し、地場有力企業とのアライアンスを通じて、投資や国内外でのトレードを積極的に展開しています。今般、その実績が評価され、当プロジェクトの受注に至りました。なお、当プロジェクトにおいて、Accton Technology Corporation（本社：台湾 新竹、董事長：黃國修、以下「Accton」）、Industrial Technology Research Institute（本社：台湾 新竹、董事長：李世光、以下「ITRI」）、国立成功大学（本校：台湾 台南、学長：沈孟儒、以下「成功大学」）とパートナー契約を締結し、産官学連携による要素技術の実用化・産業化も推進してまいります。また当社グループである伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：新宮 達史、以下「CTC」）とも当プロジェクト内において連携を図ってまいります。

## プロジェクト概要

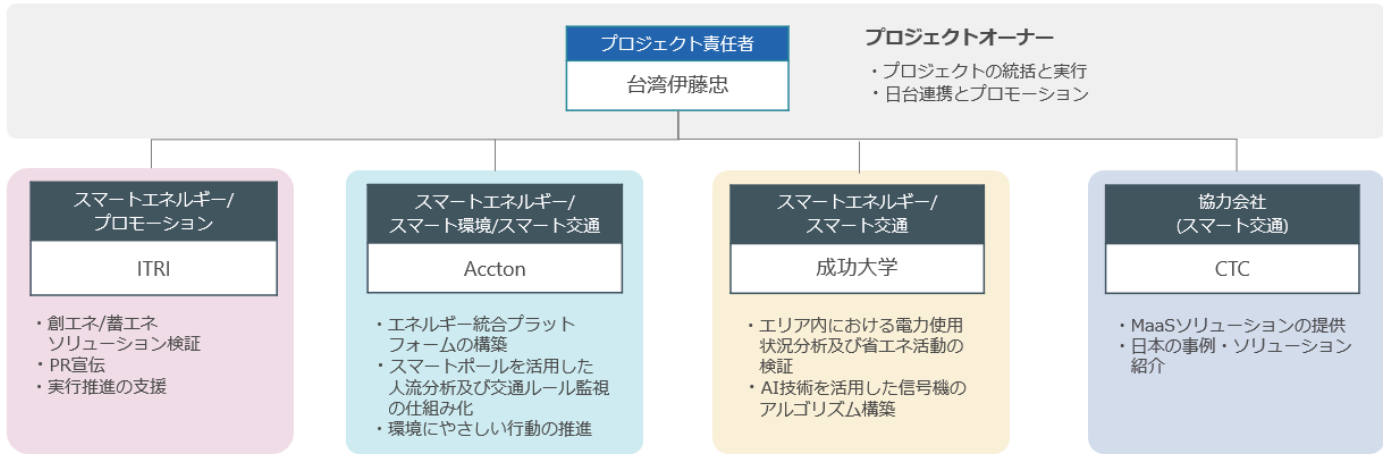
スマートエネルギー、スマート環境、スマート交通をコンセプトとし、IoTソリューション・アプリケーションを活用したデータ統合プラットフォームの構築と今後のスマートシティ構想に対する提言を行ってまいります。

①スマートエネルギー	エネルギー管理プラットフォームの構築及びグリーンエネルギーの創出・需給予測、エリア内における電力使用状況分析 等
②スマート環境	スマートポール(※)を活用した人流分析及び交通ルール監視の仕組化 等
③スマート交通	AI技術を活用した信号機のアルゴリズム構築及びMaaS技術の導入 等

伊藤忠商事は、経営方針「The Brand-new Deal～利は川下にあり～」を掲げ、市場・社会・生活者等のあらゆるステークホルダーの声に耳を傾けながら、「SDGsへの貢献・取組強化」を推進しています。今後も持続可能な社会の実現に向け貢献してまいります。

※ Wi-Fi通信や人流計測・交通状況監視カメラ、デジタルサイネージ等の機能を有した電柱型デバイス。当地区に11本のデバイスが設置済。

## プロジェクト推進体制



[2024年プレスリリース一覧へ](#)  
[情報・金融カンパニー2024年ニュース一覧へ](#)

[Post](#) [Share](#)